

CWS CLUBS NEWSLETTER 2018年2月号 発行:CWS CLUB

# THE WHEELS VIEW

〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-11-19 TEL 0422-28-7787

CWSクラブに入会すると自動的に自転車保険に加入します。  
入会は吉祥寺店・池袋店・高田馬場店で随時受付けています。  
安心して自転車を楽しみましょう。

<http://www.c-w-s.co.jp> クラブのページも見てね!



左の写真はシクロクロス千葉  
公式HPから借用しました

レースに出場するのもよし 見るだけでもよし ポートタワーからの眺めよし 帰りは隣の美術館に寄るもよし



## 三頭山アタック

大岳山、御前山と並び、奥多摩三山と称される三頭山(みとうさん)にアタックしてきました。長時間に及ぶ担ぎが要求されるコースですので、体力と技術が伴わない人は、笹尾根を榎寄山で下山するのが良いでしょう。

檜原街道をひた走り、日の出と共に笛吹(うずしき)入口から登坂を開始し、以前の雪上ツーリングでゴールとした丸山に到着です。ここから、北西方向の三頭山(1527<sup>標高</sup>)を目指します。緩くも急でもない登り下りを繰り返し、笛吹峠、数馬峠と越えて、展望の開けた榎寄山に到着。時折三頭山の山容が視えますが、現地点との標高差はまだまだありそうです。この先立ちはだかる岩登りは、足を休め、呼吸を整えつつクリアすると、三頭山まで40分の標示が。この辺りから晴れの予報を裏切り、間もなく雨に見舞われます。



大沢山、三頭山避難小屋、ムシカリ峠を経れば、ついに三頭山山頂に到着です。平日ですが、都民の森からアクセスしてくる登山者が多いので、昼食は到着までに済ませ、展望を愉しむだけに留めておきましょう。 天気が急速に回復してきたので、当初の予定通り、北上し奥多摩湖を目指します。入小沢ノ峰と糠指ノ峰の間にはオツネの泣坂と呼ばれる激坂がありますが、この後に現れる乗車の難しい岩場の下りが延々と続く方が、担ぎ続けた身には堪えました。イヨ山を過ぎると、あとは30分ほど落ち葉の上を自由に走り奥多摩湖に至ります。



奥多摩湖周辺は、都内から1週間遅れて桜が満開を迎えており、花に癒されながら、倉戸口バス停まで走り、丹下堂で鶴の湯温泉の入浴と名物鹿肉定食をいただき、本日のツーリングを終えるのでした。バスに自転車を積み込めたら、奥多摩の地酒で一杯やりたいところでしたが、帰宅してからの楽しみとしておきましょう。



レポーター:ひばりヶ丘駅前 そば処柳屋 店主 伊藤秀継

ブログに本文掲載 <http://blogs.yahoo.co.jp/hitofumi300/14089029.html>

